

「令和4年度公社喜連団地住戸改善事業 事業提案競技」の選定結果について

この度、「令和4年度公社喜連団地住戸改善事業 事業提案競技」を実施した結果、多くの意欲的な提案をいただき、厚くお礼申し上げます。応募いただきました提案作品について、審査委員会にて審査した結果、次のとおり最優秀作品を選定いたしました。

1. 最優秀作品 「応募番号 3」

2. 最優秀作品
提案者 株式会社未来想建・梅岡設計事務所共同企業体

3. 審査内容

令和4年3月10日に本事業提案競技の募集要項を公社ホームページにて公表し、同日から5月13日にかけて事業提案の募集を行ったところ、9者の応募がありました。

しかしながら、内1者は応募資格非該当であったことから、8者を審議の対象とし、5月31日に開催しました審査委員会において審査をした結果、「応募番号3」が最優秀作品に選定されました。

4. 業務内容 設計・施工・工事監理（自主監理）一式
・浴槽設置タイプ 3戸
・シャワーブース設置タイプ 3戸

5. 審査結果一覧

	定性的事項 (60点)	定量的事項 (40点)	総合点 (100点)	順位
応募番号 1	40.88	40.00	80.88	2
応募番号 3	45.04	36.00	81.04	1
応募番号 4	41.60	36.00	77.60	3
応募番号 5	40.80	36.00	76.80	5
応募番号 6	35.20	37.10	72.30	6
応募番号 7	40.56	36.30	76.86	4
応募番号 8	35.20	36.00	71.20	8
応募番号 9	35.68	36.00	71.68	7

6. 審査委員会総評

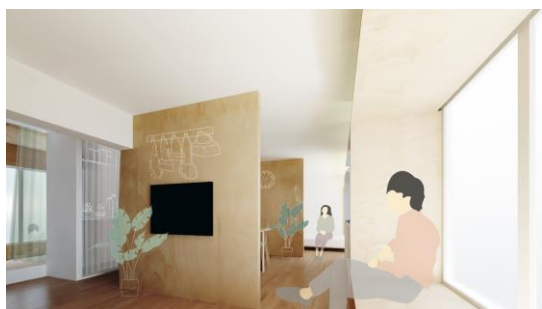
応募された提案は、限られた面積でありながら、リビングと各居室のつながり方を意識した独自性が高いプランが多数見られ、団地リノベーションへの関心の高さが改めて感じられました。

本提案競技では、若年層がターゲットであることから、回遊動線を重視しつつ家事や子育てがしやすいプランや、仕上げ材に工夫をこらしたプランなど、住み手が愛着を持てる多くの提案をいただきました。

また、築50年が経過し、現在の設備水準に十分対応できていないという喜連団地の課題に対しては、排水ルートや排水勾配に苦心を重ねた提案が見受けられました。

最優秀作品は「窓辺空間が繋ぐ多様な暮らし」をコンセプトとし、南北の窓辺空間を活かし、建具を設けない回遊動線で各スペースをつないだプランが選定されました。

本事業は、今年度に6戸以上の供給を予定しているため、子ども室や書斎などが緩やかに仕切られており個人のスペースを確保できる点、リビング・ダイニングを中心とした現代的な生活への汎用性が高い点などが評価されました。



イメージ図

7. その他

今回の提案競技は事業提案競技方式のため、最優秀作品については設計業務の段階で、計画を一部変更する場合があります。

本事業提案競技に申込み並びに応募いただいた事業者の皆様には改めてお礼申し上げます。

以上